

# 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 横浜丸魚株式会社  
 コード番号 8045 URL <http://www.yokohama-maruu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芦澤 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小島 雅裕

TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	38,461	△2.6	186	23.7	418	12.5	365	20.5
30年3月期第3四半期	39,505	△2.0	150	△49.4	371	△30.5	303	△52.0

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 △974百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 1,694百万円 (35.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	51.71	—
30年3月期第3四半期	42.90	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,927	12,622	60.4
30年3月期	20,034	13,657	68.2

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 12,630百万円 30年3月期 13,657百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	12.00	12.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.3	220	9.5	430	0.7	300	△14.1	42.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,261,706 株	30年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	194,572 株	30年3月期	194,572 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,067,134 株	30年3月期3Q	7,067,461 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移した一方で、為替や株価の不安定な動きや、米中貿易摩擦の激化など懸念事項も多く、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、海洋環境の変化に起因する水産資源の減少や、市場外流通拡大に伴う取扱数量の減少、国際的な水産資源の需要拡大に伴う取引価格の上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成29年度から平成31年度まで3カ年の中期経営計画「MMプラン4th Stage」の二年目にあたり、「原点回帰からの新たなる挑戦」をテーマとし、市場としての役割を果たすべく5つの重要戦略を掲げ、丸魚グループによる更なる合理化や、神奈川県産地消ブランド品の強化を図り、グループ一丸となって目標達成に向けて邁進しているところであります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,461百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,043百万円(△2.6%)の減収となりましたが、水産物販売事業においてグループ一括仕入の拡大を図り、一部の商材で粗利益率が改善されたことにより、営業利益は186百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ35百万円(23.7%)、経常利益は418百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ46百万円(12.5%)それぞれ増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産譲渡に伴う固定資産売却益を54百万円計上したことにより、365百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ62百万円(20.5%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (水産物卸売事業)

売上高は30,482百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1,018百万円(△3.2%)の減収となり、営業利益も17百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ40百万円(△69.8%)の減益となりました。

## (水産物販売事業)

売上高は7,709百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ54百万円(△0.7%)の減収となりましたが、営業利益は91百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ48百万円(114.0%)の増益となりました。

## (不動産等賃貸事業)

売上高は92百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ24百万円(36.1%)の増収となり、営業利益も65百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ33百万円(102.4%)の増益となりました。

## (運送事業)

売上高は176百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ4百万円(2.8%)の増収となりましたが、営業利益は13百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ4百万円(△26.0%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、20,927百万円と前連結会計年度末に比べ892百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加421百万円、受取手形及び売掛金の増加2,115百万円、商品及び製品の増加231百万円、時価評価等による投資有価証券の減少1,922百万円によるものであります。

負債は、8,304百万円と前連結会計年度末に比べ1,926百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,507百万円、投資有価証券の時価評価等に伴う繰延税金負債の減少587百万円によるものであります。

純資産は、12,622百万円と前連結会計年度末に比べ1,034百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金の増加280百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,333百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月18日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,460	1,881
受取手形及び売掛金	4,652	6,767
商品及び製品	1,595	1,826
その他	84	40
貸倒引当金	△617	△540
流動資産合計	7,173	9,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,307	1,268
土地	1,765	1,714
リース資産(純額)	61	67
その他(純額)	71	86
有形固定資産合計	3,206	3,137
無形固定資産		
ソフトウェア	84	140
その他	12	12
無形固定資産合計	97	152
投資その他の資産		
投資有価証券	9,490	7,567
長期貸付金	6	6
破産更生債権等	419	486
その他	58	56
貸倒引当金	△416	△454
投資その他の資産合計	9,558	7,662
固定資産合計	12,861	10,952
資産合計	20,034	20,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,029	5,536
未払法人税等	11	60
引当金	53	13
その他	306	374
流動負債合計	3,401	5,985
固定負債		
退職給付に係る負債	589	560
資産除去債務	24	25
繰延税金負債	2,045	1,457
その他	316	276
固定負債合計	2,976	2,319
負債合計	6,377	8,304
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	376	402
利益剰余金	7,279	7,560
自己株式	△107	△107
株主資本合計	9,090	9,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,566	3,233
その他の包括利益累計額合計	4,566	3,233
非支配株主持分	—	△7
純資産合計	13,657	12,622
負債純資産合計	20,034	20,927

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	39,505	38,461
売上原価	36,854	35,748
売上総利益	2,650	2,713
販売費及び一般管理費	2,500	2,527
営業利益	150	186
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	210	225
その他	10	10
営業外収益合計	222	241
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	—	8
その他	0	0
営業外費用合計	1	9
経常利益	371	418
特別利益		
固定資産売却益	0	54
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	17	54
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	388	472
法人税、住民税及び事業税	86	114
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	85	113
四半期純利益	303	359
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	303	365

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	303	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,391	△1,333
その他の包括利益合計	1,391	△1,333
四半期包括利益	1,694	△974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,694	△967
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	31,501	7,764	68	171	39,505	—	39,505
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,022	39	26	90	3,178	△3,178	—
計	34,524	7,803	94	261	42,683	△3,178	39,505
セグメント利益	57	42	32	18	150	△0	150

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引消去1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	30,482	7,709	92	176	38,461	—	38,461
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,048	52	26	92	3,220	△3,220	—
計	33,531	7,762	119	268	41,681	△3,220	38,461
セグメント利益	17	91	65	13	187	△1	186

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△2百万円及びセグメント間取引消去1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。